

【条例施行規則64条関係（500t以上1,000t未満排出事業者用）】

（様式第33号）（第64条関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月26日

（宛先）長野市長 萩原 健司

提出者

住所 長野市篠ノ井石川482

氏名 株式会社 炭平製作所

代表取締役 鷺澤 幸一

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 026-292-5151

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 炭平製作所
事業場の所在地	長野市篠ノ井石川482
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	銅・同合金鋳物製造業
②事業の規模	年間製品出荷重量 1800t
③従業員数	80名
④産業廃棄物の一連の処理工程	【鉱滓・がれき類・廃プラ・廃油・ガラス屑等】 製造現場→保管容器→敷地内廃棄物集積所→委託業者による運搬→廃棄 【鉱滓の一部】 製造現場→保管容器→敷地内廃棄物集積所→委託業者による回収→珪砂に再生

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項						
(管理体制図)						
<pre> graph TD     Director[総務部長] --- Manager[製造部長]     Manager --- Worker1[製造部員]     Manager --- Worker2[総務部員]     Worker1 --- Site[製造現場]     Worker1 --- Container[保管容器]     Worker2 --- Collection[敷地内廃棄物集積所]     Worker2 --- Transportation[委託業者による運搬]     Worker2 --- Confirmation[廃棄確認]     Site --- Container     Container --- Collection     Collection --- Transportation     Transportation --- Confirmation     Site --&gt; Container     Container --&gt; Collection     Collection --&gt; Transportation     Transportation --&gt; Confirmation     </pre>						
処理の流れ →						
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
①現状	【前年度（令和6年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	鉛さい	がれき類(コンクリががら、廃アス)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	廃油	木くず
	排出量	684.47t	10.50t	21.56t	0.56t	2.47t
	産業廃棄物の種類	金属くず	汚泥(上・下水、建設、その他)			
	排出量	0.16t				
(これまでに実施した取組) 蛍光灯のLED化によりガラス類の排出削減。 木製パレットの再利用を促進し、木くず排出量低減。 廃油の再利用を促進して廃油排出量削減						
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	鉛さい	がれき類(コンクリががら、廃アス)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	廃油	木くず
	排出量	650.00t	10.00t	25.00t		2.00t
	産業廃棄物の種類	金属くず	汚泥(上・下水、建設、その他)			
	排出量	1.00t	0.10t			
(今後実施する予定の取組) 製造ライン及び集塵設備のメンテナンスを継続し鉛滓排出量を抑制する。						
産業廃棄物の分別に関する事項						
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類増加なし					
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 環境に沿った廃棄物の取り扱いと運搬費改善					

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和 年度）実績】							
①現状	産業廃棄物の種類	鉱さい	がれき類(コンクリがら、廃アス	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	廃油	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	金属くず	汚泥(上・下水、建設、その他)				
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組)						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	鉱さい	がれき類(コンクリがら、廃アス	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	廃油	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	金属くず	汚泥(上・下水、建設、その他)				
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組)						
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項							
①現状	【前年度（令和 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	鉱さい	がれき類(コンクリがら、廃アス	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	廃油	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	金属くず	汚泥(上・下水、建設、その他)				
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
②計画	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組)						
	【目標】						
	産業廃棄物の種類	鉱さい	がれき類(コンクリがら、廃アス	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	廃油	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	金属くず	汚泥(上・下水、建設、その他)				
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組)						

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項



【目標】						
産業廃棄物の種類	鉛さい	がれき類(コンクリがら、廃アスファルト、レンガ)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール含)	廃油	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器 <sup>くず</sup> (石膏ボード)
全処理委託量	650.00t	10.00t	25.00t		2.00t	1.00t
優良認定処理業者への処理委託量						
再生利用業者への処理委託量						
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
産業廃棄物の種類	金属くず	汚泥(上・下水、建設、その他)				
全処理委託量	1.00t	0.10t				
優良認定処理業者への処理委託量						
再生利用業者への処理委託量						
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。  
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

## 産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処理事項		産業廃棄物の種類（実績値・計画値）											合計	
		鉱さい	がれき類 (コンクリ がら、廃 アスファ	廃プラス チック(廃 タイヤ、 発泡フチ	廃油	木くず	ガラス・ コンク リート・ 陶磁器／	金属くず	汚泥(上・ 下水、建 設、その 他)					
排出抑制に関する事項		前年度排出量(実績)	684.47t	10.50t	21.56t	0.56t	2.47t		0.16t					719.72t
		本年度排出量(計画)	650.00t	10.00t	25.00t		2.00t	1.00t	1.00t	0.10t				689.10t
自ら行う(行った) 再生利用に関する事項		前年度実績												
		本年度計画(目標)												
自ら行う (行った) 中間処理 に関する 事項	自ら行う (行った) 熱回収の量	前年度実績												
	本年度計画(目標)													
	自ら中間処理 により減量 する(した)量	前年度実績												
自ら行う(行った)埋立 処分又は海洋投入処分 に関する事項	前年度実績													
	本年度計画(目標)													
処理の委託 に関する事項	全処理委託量	前年度実績	684.47t	10.50t	21.56t	0.56t	2.47t		0.16t					719.72t
		本年度計画(目標)	650.00t	10.00t	25.00t		2.00t	1.00t	1.00t	0.10t				689.10t
	優良認定処理業者 への処理委託量	前年度実績												
		本年度計画(目標)												
	再生利用業者 への処理委託量	前年度実績												
		本年度計画(目標)												
	認定熱回収業者 への処理委託量	前年度実績												
		本年度計画(目標)												
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	前年度実績												
		本年度計画(目標)												

## 【記載方法】

- 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を、下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。